

ブクステフーデ《メンブラ・イエーズ・ノストリ（我らがイエスの御体）》

若きバッハが憧れて約 400km の道のりを徒歩で訪ねた北ドイツの巨匠、ブクステフーデの「受難カンタータ」。十字架のイエスの御体の各部（足、膝、腕、脇腹、胸、心、顔）を各曲のテーマとし、それらの言葉が出てくる新旧訳聖書の言葉と、13 世紀のアルヌルフ・フォン・レーヴェンの受難詩を歌詞とする。この詩人はコラル「血潮したたる」のモデルとなったラテン語詩の作者として知られており、敬虔で瞑想的な詩と、幻想的な音楽によって、救い主の受難を内面に深く刻む作品である。

- 第1番 御足に寄せて（ナホム書より：平和を告げる者の足は山の上を行く）
- 第2番 御膝に寄せて（イザヤ書より：あなたたちは乳房に養われ抱いて運ばれ、膝の上であやされる）
- 第3番 御手に寄せて（ザカリア書より：あなたの胸にあるこの傷はどうしたのか）
- 第4番 御脇腹に寄せて（雅歌より：恋人よ美しきひとよ、さあ立って出ておいで）
- 第5番 御胸に寄せて（ペトロ手紙一より：生まれたばかりの乳飲み子のように）
- 第6番 御心に寄せて（雅歌より：あなたはわたしの心をときめかす）
- 第7番 御顔に寄せて（詩篇より：あなたの僕に御顔の光を注ぎ）



川田 早苗
(ソプラノ)



高島 敦子
(ソプラノ)



高橋 ちはる
(アルト)



宮下 大器
(テノール)



中川 郁太郎
(バス)



櫻井 茂
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

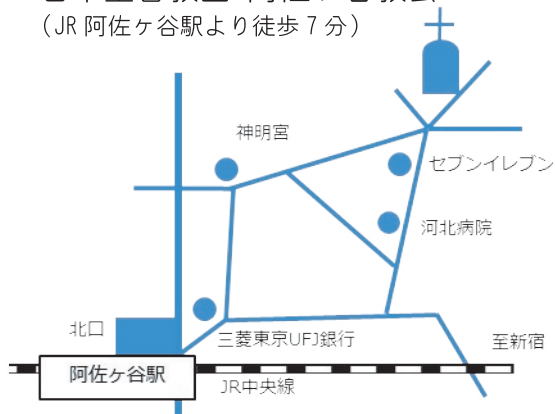


© Fujisato Ichiro
廣澤 麻美
(オルガン)



佐藤 望
(指揮)

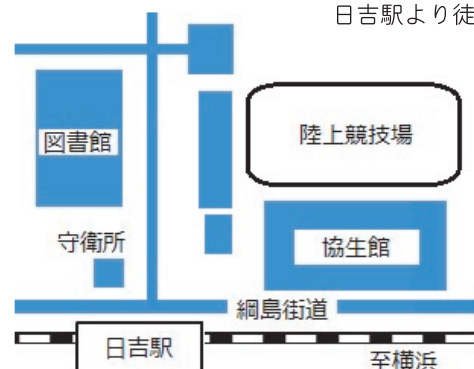
日本基督教団 阿佐ヶ谷教会
(JR 阿佐ヶ谷駅より徒歩 7 分)



東京都杉並区阿佐ヶ谷北 5-18-10

協生館 藤原洋記念ホール
(東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄)

日吉駅より徒歩 1 分)



神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1